

プラスウッドデッキND-S

接触減熱

従来にない新遮熱タイプ人工木材製ウッドデッキ

従来の遮熱デッキは製品表面の温度を低減することを特徴としています。

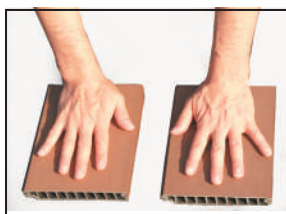
しかし、特定の試験での効果はありますが、実用上の効果が得られないことが問題でした。今回開発した新製品は、製品温度の上昇を低減するのではなく、**人が触れたときの熱さを低減（接触減熱）**するという従来の遮熱デッキとは製品の開発コンセプトがまったく異なる遮熱デッキです。



新遮熱デッキ プラスウッドデッキND-Sは

- ・触れた時の熱さを低減する遮熱デッキです。（接触減熱）
- ・実際の太陽光下でも熱さを低減する効果が得られます。

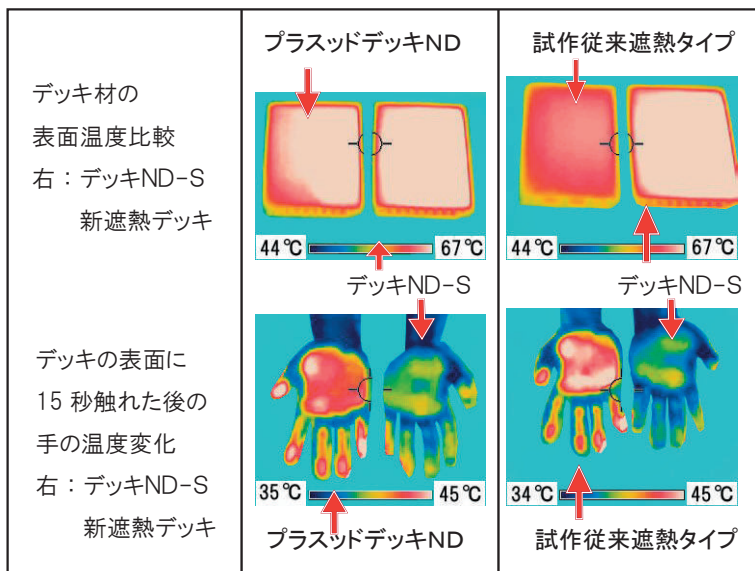
● 太陽光下でデッキ材に触ったときの手の温度変化をサーモグラフィーでチェック



新遮熱デッキは、従来の遮熱タイプデッキに比べてデッキに直接触れた時の熱さを低減するタイプの遮熱デッキです。

夏場の屋外に放置したデッキ材はかなり高温になりますが、デッキ材に手で触れた時の手の温度をサーモグラフィーで可視化すると、新遮熱デッキに触れても手の温度がさほど上がっていないことが分かります。

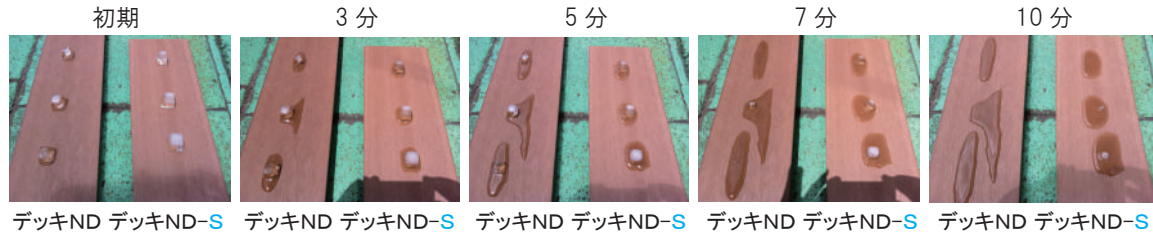
* 表示温度はサーモグラフィーの温度スケールの温度範囲
試験体以外の色は見やすくするため写真加工しています



● デッキ材との接触による氷の溶解速度比較

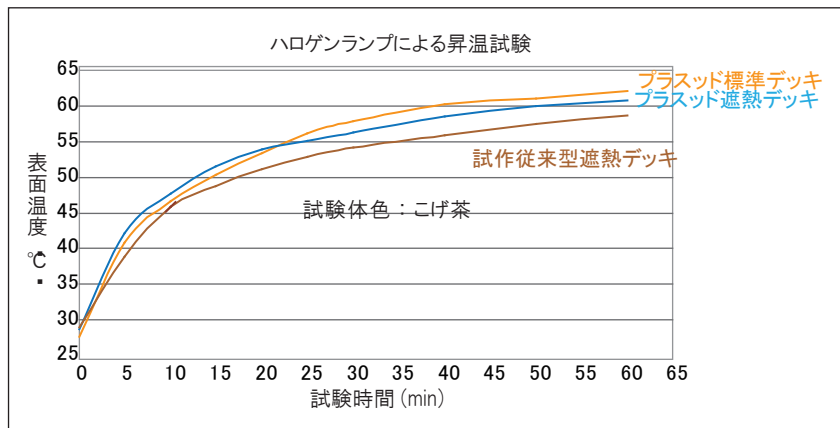
下の写真は、手ではなく氷をデッキ材の上において、氷の溶ける速さを比較したものです。氷の場合でも新シャイツデッキの上の氷は従来に比べて溶けにくくなっており、熱さ低減効果が大きいことが分かります。

・ デッキ材に氷を静置し氷の溶解速度比較



● デッキ材の昇温試験

これまでの遮熱デッキの試験方法は、「赤外線ランプ」を使った昇温試験（ASTM D4803）でした。そのため、赤外線を反射する顔料を使うことで赤外線ランプでの効果は10℃以上ありますが、太陽光下では数度の低下でしかなく、実際の太陽光下での効果がわかりにくい試験でした。そこで、太陽光の波長にもっとも近いといわれる「ハロゲンランプ」を使い、試作した従来型遮熱デッキと比較しました。試作の従来型遮熱デッキは4℃程度の温度低減効果が認められますが、10℃以上もの効果は認められません。新遮熱デッキと比べるとその差はさらに小さく、2℃ほどしかありません。



● ご使用上の注意

- ・ 本製品の特性上、従来の非遮熱品より表面硬度が低下しています（ブリネル硬度：21）ので、商業施設などの重歩行用途でのご使用は避けください。
- ・ 裸足歩行時の熱さ低減効果はありますが、裸足歩行が可能であることを保証する商品ではありません。デッキ面材が高温時には裸足での歩行は避けください。
- ・ 製品は160mm幅の表面に溝がない平坦なタイプのみとなります。受注生産で、最低発注数量がございますので、詳細は営業までお問い合わせください。
- ・ 従来のデッキNDに比べて、若干色が薄くなります。色見本等でご確認ください。

販売元

R リフォジュール株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1丁目23番3号(フクビビル)

TEL 03-6890-0090 FAX 03-6890-0089

<http://www.pluswood.jp>

製造元

フクビ化学工業株式会社

本社

〒918-8585 福井県福井市三十八社町33の66

工場

本社・坂井(福井)・三方(福井)・大阪・盛岡・タイ国・USA

<http://www.fukuvi.co.jp>